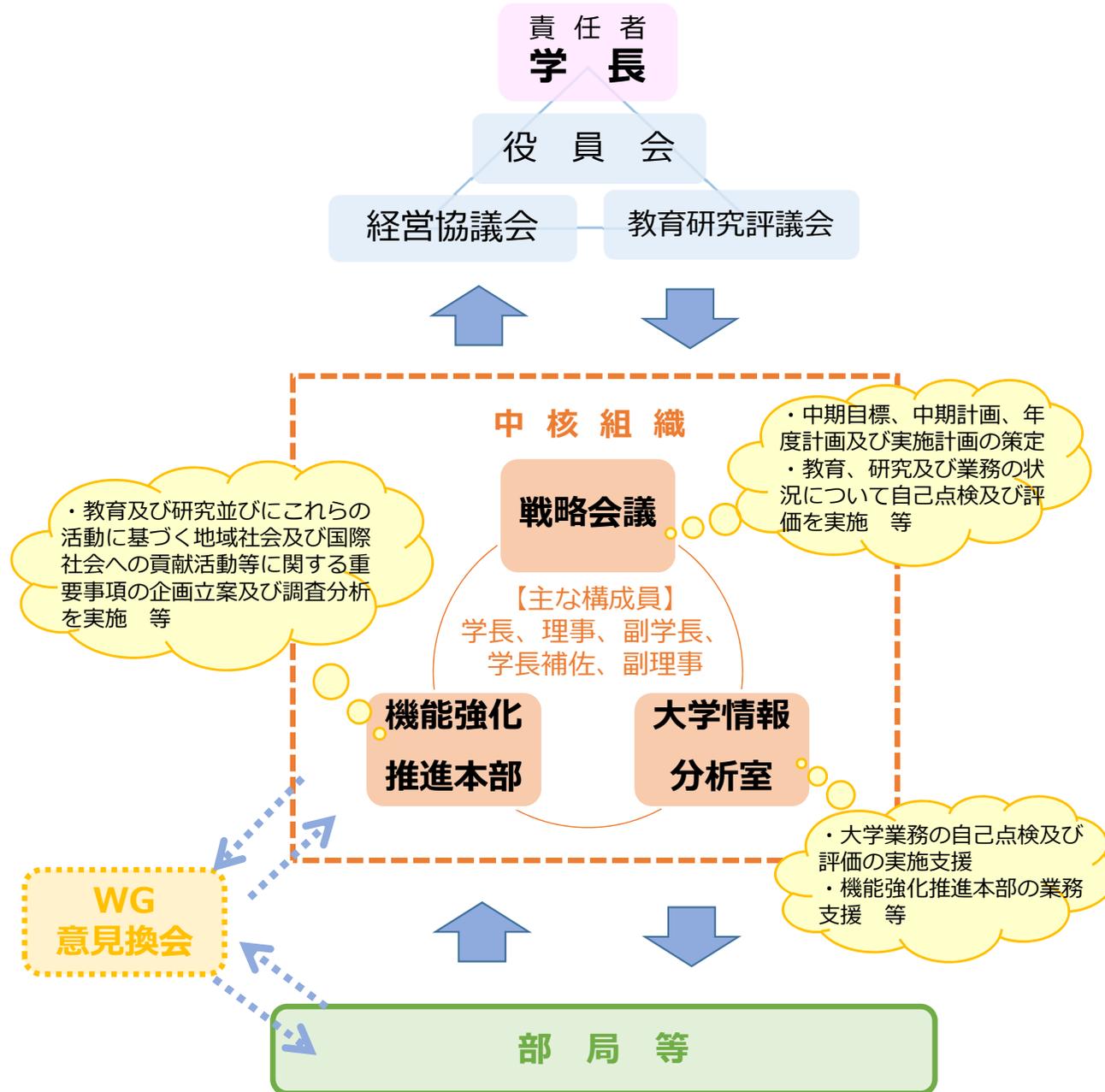


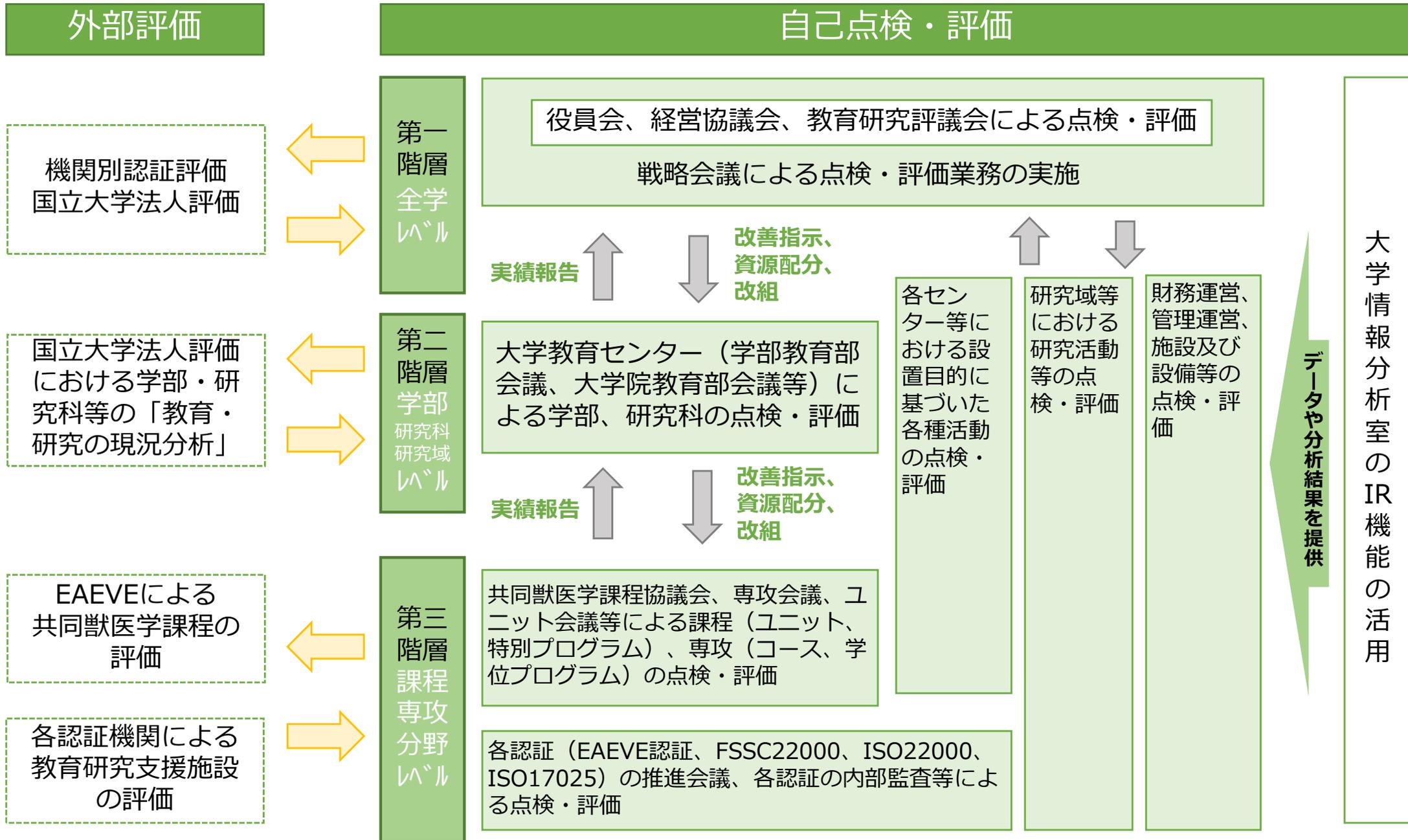
帯広畜産大学の総合的な内部質保証システム

◇ 総合的な内部質保証システムの概要 ◇

- ① 本学における総合的な内部質保証システム（以下、質保証システム）とは、教育及び研究、組織及び運営、並びに施設及び設備の状況について、継続的に点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、全学の質を保証するための仕組みである。
- ② 質保証システムの責任者は学長であり、役員会、経営協議会、教育研究評議会とともに、改善に向けた検討・審議を行い、該当する部局等に対して改善の指示を行う。
- ③ 質保証システムの中核組織として戦略会議、機能強化推進本部、大学情報分析室を置き、中期目標・中期計画及び年度計画に係る原案の策定、国立大学法人評価及び機関別認証評価等に係る報告書原案の作成、重要事項の企画立案、それらに関する調査分析等の業務を行う。
- ④ 学校教育法第109条第1項に定める、教育研究等の総合的な自己点検・評価については、帯広畜産大学自己点検・評価ポリシーに基づき行う。
- ⑤ 学長は、将来構想、組織再編等の改革を推進するため、必要と判断した場合は、役員と関係者との意見交換会の開催や、WGの設置等により、更に具体的な検討を行う。



帯広畜産大学の総合的な内部質保証システム（階層別）





帯広畜産大学の教育の内部質保証システム

帯広畜産大学は提供する教育の質保証を恒常的に維持し、教育内容および方法を創造的に発展させることにより質の向上をめざしています。

そこで、大学教育センターでは、本学が定めた中期目標・中期計画および年度計画に加えて、教員研究上の基本組織、内部質保証、財務運営、管理運営及び情報の公表、施設・設備及び学生支援、学生の受入、教育課程と学修成果に関する目標を定めて計画を立案・実施し、自己点検・評価にもとづいた改善・改革を行います。

さらに、大学内に設置した教育の内部監査チームは大学教育センターにおいて、適切に自己点検・評価が行われているか監査を行い、改善方策等の助言を行うことにより、実効性のある教育PDCAサイクルを確実に機能させます。

